

# ☆masaki

学校教育目標 「自らの良さを認め 共に伸びる生徒の育成」

校 訓 「真面目にします 仲よく協力します よい言葉を使います」

## 少年の日記念集会・記念行事

1月20日（土）、少年の日記念集会・記念行事が行われました。校長先生の挨拶のあと、各クラスの代表が決意作文の発表を行いました。その後、進路指導主事から来年度の高校入試について説明がありました。多目的室には、生徒が作成した自画像、決意作文、職場体験新聞等が展示されており、多くの方に見ていただきました。午後は、少年の日記念行事として、県民文化会館メインホールにて、舞踊交響詩 古事記「一粒萬倍」の観劇が行われました。

「少年の日」は、「変わる日」ではなく「変える日」です。何かを意識して変えようとしなければ、何も変わらない普通の日になってしまいます。少年の日を確かに「自分を変える」特別な1日にしましょう。

2年生の皆さん「少年の日」おめでとうございます。

### 少年の日記念集会 校長挨拶

少年の日を迎えられる2年生の皆さん。おめでとうございます。皆さんは、この少年の日を境に、大人への第一歩を歩み始めます。そのような皆さんの門出を祝して、「自分の運命は自分で切り開く」というお話しをしたいと思います。

「考えは言葉となり、言葉は行動となり、行動は習慣となり、習慣は人格となり、人格は運命となる」

イギリス初の女性首相となったマーガレット・サッチャーさんの言葉です。自分の思いを言葉として発し、それを行動に移すことで習慣が生まれます。そして、その習慣は人格の形成に影響を及ぼしていくため、その人の運命まで変えてしまうという意味です。

つまり、「考え方を変えれば、人生が変わる」ということです。「鉄の女」と呼ばれるほど強い意志を持ったサッチャーさんは、この言葉通り生き、イギリス初の女性首相に昇りつめ、その手腕を振るいました。

皆さんはどうでしょうか？「しんどい」ことや「面倒くさい」ことから逃げていませんか？

自分の「やるべきこと」や「やらなくてはならないこと」があるなら、まず「今日やる」とか「いついつまでに終わらせる」と言葉に出して宣言しましょう。相手は家族でも友達でもいいと思います。宣言してしまうと、もう後には引けませんから、やるしかありませんよね。やらなければ、自分が恥をかくだけです。最初はしんどく面倒くさいと思っていたことも、毎日やっていけば習慣に変わってきます。やるのが当たり前になってきます。そうなるとしめたもので、その人に大きな変化が現れてきます。そして、それがいずれ成果として現れ、運命までも変わってくるということです。

昔、流行った塾の宣伝文句で、「いつやるの？今でしょう」という言葉がありました。まさにその通りです。「いずれやります」とか「そのうちやります」という人の「いずれ」や「そのうち」は、まずやってきません。やらないことの言い訳を言っているだけだからです。

この「少年の日記念集会」を境に、甘えた考えを捨て、ぜひ「自分の運命は自分で切り開く」という強い気持ちを持ってほしいと思います。

「考えは言葉となり、言葉は行動となり、行動は習慣となり、習慣は人格となり、人格は運命となる」です。

皆さんの、これからの運命が、希望に満ち溢れ、光り輝くものになることを強く願って「少年の日 記念集会」の挨拶といたします。

松前町立松前中学校長 福島 泰正

## 決意作文（要旨）

### 2年1組 押岡 芽衣 「これからがんばりたいこと」

私は、今まで、たくさんの人に支えられて生きてきた。しかし、今のままの自分では大人に近づくことはできないと思い、自分を変えるために頑張りたいことを三つ考えた。一つ目は、進路や将来についてじっくり考えることである。自分がしたいことを自分で決め、その目標に向かって努力できる人になりたい。人に頼らず、強い意志をもって生きていきたい。二つ目は、挨拶を積極的にし、コミュニケーションをとることだ。これは、職場体験学習で学んだことである。それまで、自分からすすんで声を掛けることが苦手だった私は、挨拶するだけで心が温かくなったり、周りへ感謝の気持ちを伝えたりすることができたりするなど「挨拶の持つ力」を知った。まずは、自分から挨拶することを頑張りたい。三つ目は、苦手なことに挑戦することだ。今日のこの発表も人前に立つことの苦手な私にとっては、自分を変える一歩になったと思う。今日の日をきっかけに、少しの勇気を出して、様々なことに挑戦したい。

### 2年2組 永田 悠希 「どっちつかずの僕」

僕はどっちつかずだ。何事も判断が遅く、ささいなことでもすぐ迷ってしまう。頭の中ではたくさんのイメージが浮かんでいても、いつも迷って、結局は適当に簡単なものを選択してしまう。たとえ自分がやりたいことでも、イメージだけが先走り、面倒くさくなってできずにいることが多かった。しかし、全てのことに優柔不断ではないことに気が付いた。それは、ゲームだ。ゲームだけは、きちんとした目標を立て、それを達成するために自分を強くしたり必要な道具を手に入れようと努力したりできる。そこで、やらなければならないことをゲームにたとえてやってみると、できることが増えてきた。しかし、この方法ではこれから先、乗り越えられないことも出てくるであろう。僕には、「必殺技」が必要だ。それは、最後まであきらめない「持久力」、チャンスを逃さない「決断力」、そして、壁を乗り越えるための「努力」。どっちつかずの僕は、これからもたくさん迷うだろう。でも、迷うことも決して悪くない。たくさん迷い、たくさん考えて自分に悔いのないような選択をしていきたい。

### 2年3組 阿部 太陽 「感謝とともに」

「大丈夫、必ずできる。」この言葉を掛けてくれたのは、僕の母だ。しんどくてやめたいと思っても、この母の言葉でもう少し頑張ってみようと思える時もある。振り返ると、僕が病気になった時、勉強をしている時、部活動の時……。様々な場面で母に支えられてきた日がたくさんあることに気が付いた。仕事をしているのに、一人で家事をこなしている母は、とてもすごいし、感謝してもしきれない。それに対し、今までの僕は、ずっとスマホを触りっぱなしで自分の部屋にひきこもっている時間も多思う。自分のことは、自分でやっているつもりではあるが、それだけではいけない。これからは、少しでも母が休めるように、毎日家事の手伝いをしていきたい。また、母を見ていて、人を支える存在になるということは、素晴らしいことだと思った。僕も誰かが迷っていたり困っていたりしたときに、人を支えられるような人望の厚い存在になりたい。「信頼」というものは、日々の生活の行動から得られるものだと思う。それを得られるかどうか、少しずつでも自分を成長させ、多くの人を支えられる人になりたい。



【堂々と決意発表をする各クラスの代表生徒】